

くまもと経済

表紙の人

鶴田克明
新病院開設、一貫したがん医療の提供へ
鶴田病院理事長・総院長



特集

県内製造業

進む研究開発シフト、生き残りへ“技術結集” 「円滑化法」来春終了で経営改善待ったなし 新規参入や増産相次ぐ水ビジネス

【インタビュー】

甲斐隆博 肥後銀行頭取／池田潤 九州財務局長／住永幸三郎 益城町長／岩田昭彦 熊本バス社長
野尻明弘 野尻会熊本泌尿器科病院理事長／奥村高史 弁護士

【Watch 福岡】九州電力／九州旅客鉄道／FFG／在福岡オーストラリア総領事

広告企画 **環境特集 2012**

バイオディーゼル燃料でエネルギーの「地産地消」

県内民間企業初環境省J・VER認証

自然と未来

バイオディーゼル燃料(BDF) 精製・販売の自然と未来(株)(熊本 市東区小山2丁目、星子文社長) は、食用廃油のリサイクルを通して、環境負荷軽減とエネルギーの地産地消を図っている。

食用廃油を原料に自社プラントで高品質のBDFに精製、販売している同社。今年3月には環境省のオフセット・クレジット「J・VER (ジェイ・バー)」に県内民間企業で初めて認証された。J・VERは国際基準に則し、一般に知られる経済産業省の「国内クレジット」より審査が厳しいとされており、同社の取り組みとBDF品質が環境省のお墨付きを受けた形だ。同社BDFプロジェクトで削減された二酸化炭素は361トンで、これをオフセット・クレジットとして企業・団体などに1トン単位で販売する。現在、複数の地場民間企業からクレジット購入の申し出がある一方、自治体の購入は横浜市役所のみ。星子社長は「熊本での取り組みの成果なの

で、ぜひ地元自治体や企業にクレジットを購入していただきたい」と呼びかける。

同社の地道な取り組みは少しずつ広がってきており、「わくわくくまもと油田プロジェクト」として「入船市場」(同市北区植木町 滴水)を皮切りに、「ピュアライ」(同市中央区中唐人町)、「ラインガルテン」(同市東区戸島2丁目)がそれぞれ食用廃油回収ボックスを設置。さらに各校区自治会などでも同様の動きが生まれている。また、同社のBDF5%、軽油95%からなる「B5燃料」の販売を東光石油(株)が計画しており、気軽な形で環境貢献ができるようになりそうだ。

星子社長は「こういった地域のつながりを生かした活動は、いざというときの団結力の醸成にも役立つ。今後はBDFの取り組みで培ったこのスキームを、NPO法人などとも連携して未来を担う子どもたちを育む活動にいかしたい」と青写真を描いている。

「プロの技」で太陽光パネルを施工

今年7月に創業80周年

つぼみ瓦工業

今年7月、1932(大正7)年の創業から80周年の節目を迎えたつぼみ瓦工業(熊本市中央区萩原町、荻和弘代表社員)。7月20日には、ホテルニューオータニ熊本で「感謝の夕べ」を開催し、約280人がお祝いに駆けつけた。荻代表社員は「多くの方にお祝いの言葉をいただき、大変ありがたい。80周年は1つの通過点。これからも品質を第一に、誠実な仕事を心がけていく」とお礼を述べる。

屋根工事全般を手掛ける同社が近年力を注いでいるのが、太陽光発電システムの施工・販売。「屋根の上に載せる太陽光パネルの施工は、屋根の専門家である自分たちの技術を活かせる」(荻代表)と10年ほど前から取り組みをスタートさせた。原発問題などを受け、特に昨年从今年にかけて問い合わせが急増しているという。荻代表は「個人住宅でも、新築の建物には、太陽光パネルの設置希望がほとんど。既存建物へも検討している人が増えている。市場としては

まだまだ成長が見込める分野。屋根のプロフェッショナルだからこそできる高品質な施工サービスを提供していきたい」と力を込める。同社では、メーカーが開催する施工者向けの講習会などにも積極的に参加。各メーカー認定の「施工士」有資格者の育成に力を注ぎ、すでに10社以上の認定IDを取得している。また、同業他社と組織する熊本県瓦工業組合内にも「太陽光部会」を設置。情報収集や最新の技術習得に励んでいる。

荻代表は「熟練の技を継承し、日本の伝統としての瓦文化を後世に伝えていくのが私たちの使命。新事業の開拓に加え、瓦文化の継承を見据えた後継者育成にも積極的に取り組んでいきたい」と抱負を述べた。



▲今年7月に開いた「創業80周年感謝の夕べ」には関係者など約280人が出席した

おり、熊本県でもグリーン購入制度で、取り扱い製品を増やしており、コンクリート廃材や廃プラスチックなどではリサイクル品の販売にある程度ルートが確立されつつあるものもあります。しかし廃材は、現実にはリサイクル品の販売先・出先がほとんど確立されていません。

環境問題に対しては、熊本県・熊本市・熊本県産業廃棄物協会で環境保全支援金を開設しています。不法投棄者が不明だったり、不法投棄した業者が廃業していた場合、この支援金を利用して撤去作業にあたっています。このため、取り組みが活発化しています。

また再生可能エネルギーの太陽光発電の分野では、現在は大規模な設置が可能な事業者が着手していますが、今後は規模は小さいながらも設置を計画している企業があるようです。

— 続いて宮崎部長にお聞きします。

宮崎 環境問題に対しては、工場の運営と製造装置の省エネ対応

という2つの側面があると思います。設備使用者の観点からは、一層の省電力、CO₂削減については促進しなければなりません。

装置の分野では、環境対応は、開発テーマとして大きな地位を占めてくるのは間違いないので、会社としてもビジネスチャンスとして捉えています。

先ほど出ましたグリーン購入に関しても、資材購買部門を中心に購入割合を設定して一部実施しています。紙に関しては、若干再生紙の方がコスト高だとは聞いていますが（笑い）。ただ企業として、若干のコスト高であれば、リサイクル品を使用するという姿勢です。

CO₂の削減に関しても、排出量削減のための投資額についての指針がありますので、それに伴って設備投資を進めています。もちろん景気の動向で設備投資できない期もありますが、基本的にはグループ全体で指針を共有しています。

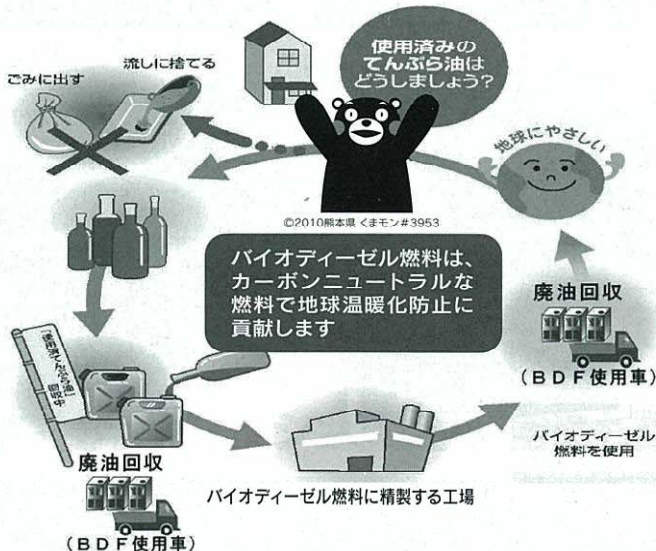
固定観念に縛られず技術研究を推進

「創電」と「節電」が一つの成長産業に

— 次に坂井教授にお聞きします。

坂井 最近では県内にメガソー

使い終わったすべてのてんぷら油をECO資源へ!



県内民間企業で初取得!

環境省のJ-VERカーボン・オフセット・クレジット

J-VERは国際基準に則って作られた信頼性の高いオフセット・クレジットです。環境省登録の当社プロジェクトで二酸化炭素361トンを削減しました。

熊本のエネルギーの地産地消の成果であるこのクレジットを購入することで、活動を支援していただける地元自治体・企業を募集しています。(1トンあたり1万円で販売)

すべては地球の未来のために
Nature and The Future Inc

自然と未来 株式会社

〒861-8045 熊本市東区小山2丁目26番16号
TEL:096-285-5907 FAX:096-285-5908
http://the-earth.org

許可

再生利用個別指定業指定証
熊本市 第RP-H22001号
熊本市 第RT-H22001号